

2021 年度事業計画について

2020 年度は新型コロナウイルス感染防止にかなりのエネルギーを注ぐ年となり、「絆フェスタ」や「喫茶りんどう」閉店に伴う「ありがとう喫茶りんどう」などの各種行事等は中止や延期を余儀なくされた。しかし、コロナ禍においても、「喫茶りんどう」に関わってこられた多くのボランティアの新たな活動が各事業所で少しずつ始まった。中でも昨年夏から法人本部で、家族、就職した卒業生らの交流の場である「絆カフェ」は、つながりを維持する活動として継続してきた。また、職員のスキルアップのための「発達障害者支援研修」や「個別支援計画作成の演習」等、いくつかの研修会と会議については感染対策や人数制限など規模を縮小して行い、さらに地域に呼びかけ「精神保健福祉ボランティア養成講座」を開催し 7 名が修了した。また、今年度は特に「絆の会 5 か年中期事業計画」策定に向け、各事業所の検討をもとに法人の在り方や今後の事業展開について検討を重ねてきた。1 年目となる 2021 年度は職員の人材育成に向けキャリアパスを策定し、職員一人ひとりに応じた研修・育成に力を入れていく。

2021 年度、就労系事業所では、利用者の障害種別の多様化、高齢化への対応、重複している事業内容の整理といった課題があり、それらを解決するために、昨年度から続けている、利用者増、販売促進、就労支援のワーキンググループを継続させ、新しい事業形態について検討していく。

グループホームでは高齢の利用者、自立を目指す利用者があり、利用者のニーズに合わせたアパート形式や、サテライト型などグループホームの形態とともに支援の在り方を検討していく。

地域活動支援センターでは、長野市の地域活動支援センター I 型の見直しに伴い、「皆神ハウス」の開設時間を一部変更し、プログラムの内容の充実を図りながら活動を継続していく。「つむぎの家」は長野市全体に利用できるサービスが増え、利用者の大半が他の事業所や地域活動支援センターを併用利用しているので、役割の終了を見据え、「地域活動支援センター在り方検討会」で閉鎖も含め検討していく。

絆の会相談室では、新たに地域生活支援員を配置し、グループホームや病院等から自立生活へ移行した人への支援を行う自立生活援助事業を始める。

2020 年度に開催できなかった「絆フェスタ」「きょうされん映画上映運動」や「精神保健福祉ボランティア養成講座」の開催はコロナ禍において未だ不透明な部分もあるが、絆の会が継続して取り組んできた障害理解のため活動を止めることなく、できることを行っていきたい。

I 2021年度 法人本部事業計画

1 会議の開催等

(1) 理事会の開催

① 2021年度第1回理事会	2021年6月3日(木)
② 2021年度第2回理事会	2021年6月18日(金)
③ 2021年度第3回理事会	2021年11月18日(木)
④ 2022年度第4回理事会	2022年3月10日(木)

適時理事会開催

(2) 評議員会の開催

2021年度定時評議員会	2021年6月18日(金)
--------------	---------------

適時評議員会開催

(3) 監事による内部監査

2021年5月22日(土)

(4) 評議員選任・解任委員会

(5) 事業運営のための諸会議

① 三役会	適宜
② 運営会議	年5回
③ 責任者会	適宜
④ 経営会議	年2回
⑤ 所長会	年10回
⑥ 所長・主任会	年2回
⑦ 主任会	年6回
⑧ 全体会	年4回
⑨ 就労B型・就労移行会議	年12回
⑩ グループホーム会(世話人連絡会)	年12回
⑪ 地活会議	年4回
⑫ 相談室スタッフ会	年12回

(6) 苦情解決担当者・第三者委員等会議

2021年7月8日(木)

苦情解決担当者・第三者委員事業所見学交流会 2021年11月11日(木)

(7) サポーター・家族会合同事業所見学会

2021年10月19日(木)

2 各種委員会・検討会等

(1) 5か年中期事業計画策定委員会

(2) 絆の会サポート委員会

(3) 職員処遇改善検討会

(4) ボランティア委員会

(5) 災害・感染症等対策委員会

(6) グループホーム在り方検討会

(7) 地域活動支援センター在り方検討会

(8) 絆フェスタ実行委員会

(9) 「きょうされん映画」上映実行委員会

(10) 絆の会ホームページ管理運営委員会

(11) ハートレター絆編集委員会

3 事業所一覧

(1) 多機能事業

就労移行支援事業所	悠友ハウス就労支援センター	定員 6 名
就労定着支援事業所	悠友ハウス就労支援センター	
就労継続支援 B 型事業所	悠友ハウス	定員 25 名

(2) 就労継続支援 B 型事業

信州そば工房きずな	定員 20 名
びーんず	定員 20 名
〔びーんず 10〕	
〔あんだんて 10〕	

(3) グループホーム事業

絆の会地域生活センター	4 か所
-------------	------

(4) 短期入所事業

みらいコーポ稲葉	1 床
----------	-----

(5) 地域活動支援センター

皆神ハウス (Ⅲ型 S タイプ)	定員 20 名
つむぎの家 (Ⅲ型)	定員 10 名

(6) 絆の会相談室

長野市障害者相談支援事業 (長野市受託事業)
指定特定相談支援事業 (計画相談支援)
指定一般相談支援事業 (地域相談支援)
長野市地域移行支援事業 (長野市受託事業)
自立生活援助事業

4 職員体制

・ 職員 57 名 (正規 (一般職員) 22 名、嘱託等 35 名)

うち、統括施設長 1 名
統括管理者 3 名
所長 6 名
事務長 1 名
主任 5 名

5 職員研修計画

(1) 内部研修会

新任職員研修 (3 年未満職員対象)	4 回 (4 月、6 月、7 月、9 月)
職員スキルアップ研修 (職員全員対象)	2 回 (8 月、12 月)
各種研修報告 (地域・生活支援部門、就労支援部門)	各 2 回
パワーハラスメント、メンタルヘルス研修	1 回

(2) 事例検討会

就労部門と地域・生活部門の2グループに分け各4回実施

外部参加者：精神科医師・精神科ソーシャルワーカー、ケース関係者等

(3) 外部研修（県内外各種研修会）への参加

相談支援従事者研修、サービス管理責任者研修、ジョブコーチ研修、管理者研修
OJTリーダー研修、中堅職員研修、新任職員研修、きょうされん関係研修
障害者虐待防止研修ほか

(4) 専門研修

県内外の施設へ研修・実習等（就労移行支援事業所等）

その他各種専門研修会への参加

(5) 当法人主催の研修会

長野市地域移行支援関係者研修会

6 当事者・家族・ボランティア活動への支援

(1) 当事者会活動への支援

ひまわりの会への支援

絆の会各事業所のメンバー会及び自主活動（スポーツ・合唱等）

障害者スポーツ大会（地区予選）への参加及び練習（毎週水曜日）

第21回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック予選会バレーボール競技（精神障害者の部）

(2) 家族会活動への支援

家族教室の開催や総会・研修会

各事業所の家族会定例会

(3) ボランティア体制の充実と活性化への支援

絆の会ボランティア委員会による自主的活動（交流会・研修会）支援

精神障害の理解とボランティアの拡大を図るため精神保健福祉ボランティア養成講座を実施
「絆カフェ」支援

7 広報・普及活動等

絆フェスタの開催

「きょうされん映画」上映会

パンフレットの充実

ホームページによる発信

会報「ハートレター絆」の発行 年6回

8 障害者の地域生活向上に向けた取組

他団体や関係機関等との連携及び協同

長野市障害ふくしネット（長野市地域自立支援協議会）への参加

ポプラの会との協同

障害者福祉推進のための諸活動への参加

Ⅱ－1 2021年度 多機能事業所（就労移行支援・就労定着支援・就労継続支援B型）事業計画

（1）悠友ハウス就労支援センター（就労移行支援）

所在地	380-0928 長野市若里 3-14-23	TEL/FAX	026-219-5131/026-219-4701
定員	6名	開設時間	月～金（9:00～17:00）

1 2021年度に向けて

2020年度は3名が就職（新規利用者11名）。生産活動、各種プログラム（座学、SST、公開講座、PC自習学習、企業見学・実習）、余暇を用意し、個々の利用者のニーズに応えられるように取り組んだ。今後は一人ひとりの課題を把握するための評価の仕組みを整えるなど、プログラムの内容を引き続き検討・実施していく。

2021年度は、施設外就労の場を増やすことで企業の雰囲気を感じたり、仲間との共同作業を通してコミュニケーションを図ることで自分の課題に気付けるように促す。企業実習は利用者の特性や意向に沿った実習先の開拓を随時行うとともに、企業とは継続した良い関係を築いていく。一般の方や関係者も対象にした公開講座を定期的実施し、活動を周知するとともに、関係機関へパンフレットを配布し利用者の新規利用が継続するよう努める。余暇では、ボランティアの力を借りながら余暇の充実を図るとともに、就職者との交流の場も検討・実施していく。その他、OJTや所内事例検討会を実施し、職員の資質向上に努めていく。

2 目標と取り組みについて

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 魅力的な生産活動、各種プログラム、余暇の充実。 ② 実習受け入れ企業の開拓と関係構築。 ③ 個別支援の充実。 ④ 利用者増に向けた取り組み。 ⑤ 職員の資質向上。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設外就労の場を増やし、企業の緊張感や厳しさなどに触れて雰囲気に慣れていく。実際の作業を通して自分の課題に気付けるように促していく。プログラムではパソコンを使って自主学習できる教材（座学、認知行動療法、評価）の準備とパソコン資格を取得できる環境を整える。余暇ではボランティアとの活動を充実させるとともに、利用者と就職者が交流できるOB・OG会を行っていく。 ② 利用者の特性や意向に沿った実習先を開拓していく。また企業とは良い関係が継続するように関係を築いていく。 ③ 就職までの具体的な計画を利用者と共に考え、個別支援計画に沿って支援していく。その他定期面談を通して振り返りを継続し、その都度目標や課題に対して職員と利用者で共有していく。 ④ 関係機関へのパンフレットの配布に加え、事業所紹介CMを作り、ホームページで配信するなど、活動を宣伝する。また悠友ハウスの就職希望者に対して計画的に見学、体験を繰り返し、スムーズに移行へつなげる。 ⑤ 所内事例検討会を定期的開催する。OJTを導入し、実務を通して職員の資質向上が図れるように取り組んでいく。

会議等	① B移会議（月1回） ② 販促会議（月1回） ③ 就労定着支援会議（月1回） ④ スタッフ会（月1回） ⑤ 研修報告（年3回） ⑥ 事例検討会（年4回） ⑦ ワゴン会議（月1回） ⑧ 随時研修会等参加
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産活動：封緘作業、セメント袋作成 ■ プログラム：座学、SST、自習学習（PC活用）、企業見学、実習、 公開講座（6、9、12、3月を予定） ■ 余暇：ボランティアとの活動（太極拳、手芸等）、OB・OG会 ■ その他：① メンバー会（月1回） ② 当事者会（ひまわりの会）参加 ③ 合唱（月2回） ④ スポーツ（ソフトバレー） ⑤ 避難・防災訓練（年1回） ⑥ 研修会等参加（随時）

（2）悠友ハウス就労支援センター（就労定着支援）

所在地	380-0928 長野市若里 3-14-23	TEL/FAX	026-219-5131/026-219-4701
定員		開設時間	月～金（9:00～17:00）

1 2021年度に向けて

2020年度は15名が定着支援を利用し、体調が安定しない利用者には、こまめに職場訪問を行い、本人や勤務先との面談の実施、勤務先と勤務調整を行った。

2021年度は引き続き就労が継続できるよう、必要に応じて職場訪問や面談を重ねていく。また生活面の支援については関係機関と役割分担を相談するなど、連携しながら支援をしていく。その他、勤務先から困ったときに相談されるケースも増えており、関係が築けてきている。今後も継続して良い関係が築けるように努めていく。

2 目標と取り組みについて

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 関係機関との連携及び利用者増。 ② 利用者の就職先企業との関係構築。 ③ 継続して利用できる就職者の憩いの場づくり。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 関係機関と役割分担など相談し、連携しながら支援していく。関係機関へのパンフレット配布や、事業所紹介CMを作りホームページで配信するなど、活動の周知と利用者増を図る。 ② 必要に応じて職場訪問を重ね、困りごとに対して共に考え提案し、困ったときに気軽に相談してもらえぬ関係を築いていく。 ③ 就職者がいつでも立ち寄れる憩いの場をどのような形で実現できるのかを検討、実施していく。
会議等	就労定着支援会議（月1回）

(3) 悠友ハウス（就労継続支援B型）

所在地	380-0928 長野市若里 3-14-23	TEL/FAX	026-219-5131/026-219-4701
定員	25名	開設時間	月～金（9：00～17：00）

1 2021年度に向けて

2020年度は、コロナ禍のなか、印刷事業は「コロナに負けるな大作戦」による返礼品の印刷や他事業所からの定期的な受注、軽作業は1社と新規取引を開始し、作業量を確保した。また専門性を伴った作業を縮小し、多くの利用者が携わることのできる作業を増やした。結果、これまで従事したことのない利用者も参加できるようになった。

2021年度は、障害種別が多様化するなか、広く利用者の受け入れができるように利用者の特性に合わせた事業内容に整理し、年間を通して安定した作業量を確保していく。新規利用者に対しては定着するようこまめな言葉がけに加えて計画的に通所日数を増やしていく。また、OJTの導入や所内事例検討会を定期的に開催、外部研修にも積極的に参加することで職員の質の向上を目指す。その他、就職希望者に対して計画的に就労移行へ移行できるように悠友ハウス就労支援センターと連携していく。

2 各施設事業計画

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の特性に合わせた事業内容の整理。 ② 工賃アップに向けた取り組み。 ③ 個別支援の充実。 ④ 就労移行との連携。 ⑤ 職員の資質向上。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 軽作業など所内でできる作業を希望している利用者が増えており、年間を通して安定した作業量を確保する。それに伴い、引き続き専門性を伴う事業は縮小するなど利用者の特性に合わせた事業に整理し、広く利用者を受け入れられる体制を整える。 ② 取引先と相談しながら、キノコの紙巻作業や公園の掃除の日数を確保する。また販売については日数と作業従事者を増やし、工賃アップを目指す。 ③ 障害種別が多様化するなか、パーテーションで作業スペースをわける、作業室のレイアウトの見直しなど落ち着いて作業ができる環境を整える。また引き続き「見える化」に取り組み、イラストなどで利用者にわかりやすく伝えられるようにしていく。その他、新規利用者が定着するようこまめな声かけに加えて、計画的に通所日数を増やしていけるように個別支援計画に基づいた支援を実施していく。 ④ 同じ建物で事業をしているメリットを生かし、就職希望者に対してプログラムの体験や見学など計画的に行い、就労移行へスムーズに移行できるようにする。 ⑤ 所内でOJTを導入し、現場で学べる仕組みを作っていく。また所内事例検討会を定期的に開催し、職員の資質向上を目指す。
会議等	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">① B移会議（月1回） <li style="width: 33%;">② 販促会議（月1回） <li style="width: 33%;">③ スタッフ会（月1回） <li style="width: 33%;">④ 研修報告（年3回） <li style="width: 33%;">⑤ 事例検討会（年4回） <li style="width: 33%;">⑥ 随時研修会等参加

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作業：箱折り・発送作業、ゼリー詰め、清掃、ポスティング、印刷事業、販売事業（出張販売・Kizuna Shop）、アウトワーク事業（草取り、キノコ紙巻、燻炭製造など） ■ 行事 ■ その他：① メンバー会（月1回） ② 合唱（月2回） ③ スポーツ（ソフトバレー） ④ 整体（1回/4か月） ⑤ 避難・防災訓練（年1回） ⑥ 研修会等参加（随時）
目標工賃	時給：450円 平均月額：11,000円 最高月額：30,000円

Ⅱ－２ 2021年度 就労継続支援B型事業計画

(1) 信州そば工房きずな

所在地	381-0012 長野市柳原 659-1	TEL/FAX	026-263 - 9788/026 - 217 - 5220
定員	20名	開設時間	月～金 (8:45～16:30)

1 2021年度に向けて

2020年度は、製造販売では、コロナ禍の影響で春先の売上が激減したが、サポーターの提案による返礼品やきょうされんネットショップによる応援などのおかげで、利益を維持することができた。援農作業では、長年継続した取引先からの作業がなくなり、新規の取引先数か所を組み合わせ作業を行った。一方で、製造作業中に、利用者が機械に指を巻きこむ事故が発生し、安全対策が大きな課題となった。

2021年度は、作業中の事故の再発防止に向けて、安全への意識向上を図り、マニュアルの整備と遵守を徹底し、利用者が安心して働ける環境作りを進めていく。製造・販売・施設外など各作業では、安定した作業量を通年で確保し、コロナ禍でも影響を受けにくい工夫を凝らして、工賃を確保していく。利用者の増加と定着に向けて、そば工房の魅力発信に努める一方で、希望者の多い簡易作業の幅を拡げて定着を促していく。また、OJTの導入や所内事例検討会の実施を行うことで職員の資質の向上を目指し、より良い支援につなげていく。

2 目標と取り組みについて

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 危機管理の徹底と事故の再発防止。 ② 利用者の特性に合わせた事業内容の充実。 ③ 工賃アップに向けた取り組み。 ④ 利用者増と定着。 ⑤ 個別支援の充実。 ⑥ 職員の資質向上。 ⑦ 地域との関りを深める。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 作業中の事故再発防止のため、職員と利用者共に安全への意識向上を図り、作業工程の見直しを徹底する。また、作業マニュアルを整備し、利用者が安心して機械や道具を使える環境を整える。また、日々のヒヤリハットの記録を付けて、メンバー会で振り返り検討と改善を重ねていく。 ② 製造では、これまでの午前中心から一日を通して余裕を持って作業を行える体制にする。利用者が取り組みやすい簡易作業では、製造関連のシール貼り等に加え外部から安定した作業を獲得する。また、ボランティアと協力しながら、働くための体力づくりなどの活動を充実させていく。 ③ 麺の製造販売では、既存スーパーの売上増を目指す他、ネット販売や定期宅配を検討してコロナ禍でも売上を確保する。施設外就労では、援農を一本化し年間を通じて途切れない作業を目指す。 ④ 見学者が増えるよう、関係者へ送迎サービスの周知を図るとともに、「そば工房で働いてみたい」と感じてもらえる雰囲気づくりに努め、体験から利用につなげ

	<p>ていく。また、利用者増WGと連携し、パンフレット配布やホームページでの広報をすすめて、当事者に広く活動を周知していく。利用者の定着を図るために「ゆったりでもしっかりでも」幅広く働き方を選べる事業所を目指す。</p> <p>⑤ 相談支援専門員と連携し、個別支援計画に基づき支援の充実を図る。また、個々の利用者の特性に配慮した作業環境を整えていく。</p> <p>⑥ 月々のスタッフ会を活用し、関係者による所内事例検討に取り組み、意見交換を行う中で支援の向上を目指す。また、現場でのOJTを取り入れて職員間の資質向上に努める。</p> <p>⑦ コロナ禍の影響にもよるが、防災訓練や地区祭りなどの地域行事に参加する。また、麺の定期宅配を小規模から行うことに合わせて、地域の課題を探っていく。</p>
会議等	<p>① B移会議（月1回） ② 販促会議（月1回） ③ スタッフ会議（月1回） ④ 研修報告（年3回） ⑤ 事例検討会（年4回） ⑥ 研修会参加（随時）</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作業：麺類の製造と納品、自主販売、施設外就労（援農・キノコ）、軽作業（シール貼り等） ■ 行事：お花見、暑気払い、新年会、レクリエーション等 ■ その他：① メンバー会（月1回） ② 工場又は施設見学（年1回） ③ 整体（年2・3回） ④ 避難・防災訓練（年2回） ⑤ 研修会等参加（随時）
目標工賃	時給：600円 平均月額：30,000円 最高月額：60,000円

(2) -1 あんだんて

所在地	388-8007 長野市篠ノ井布施高田 823	TEL/FAX	026-213-6122
定員	10名	開設時間	月～土（8：45～16：30）

1 2021年度に向けて

2020年度は、コロナ禍によって大きな影響を受けた1年であった。作業量の確保が難しいなか、もっと働きたいという利用者にびんずと連携をとることで通所日を増やすことができた。軽食は惣菜販売に力を入れたこと、弁当は地域への地道な宣伝活動によって注文数が確保できたことによって、工賃時給を上げることができた。

2021年度は、軽食作業と弁当作業が連動して作業の効率化や食品ロスの削減に取り組み、引き続き工賃の維持・向上に取り組む。また、感染症対策も含め、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の徹底を図っていく。施設外作業では、利用者・職員が一丸となって作業効率の向上に取り組み、収入を維持する。また、昨年度同様にびんずと連携をして、利用者の希望に柔軟に対応していく。

2 各施設事業計画

重点目標	<p>① 利用者の特性に合わせた事業内容の充実。</p> <p>② 工賃アップに向けた取り組み。</p> <p>③ 利用者増と定着。</p> <p>④ 個別支援の充実。</p> <p>⑤ 職員の連携と資質の向上。</p> <p>⑥ 衛生管理の徹底。</p>
------	--

<p>目標に向けた取り組み</p>	<p>① 利用者が主体的に作業に取り組める環境づくりを行うため、軽食作業と弁当作業では、利用者の日々の作業のなかでのつまずきにポイントを当てて、学習会や調理実習などを行い、利用者のスキルアップを目指す。昨年度取り組んだ作業のマニュアルづくりを更に進め、利用者が自発的に進められる作業を増やしていく。ワゴンカフェ販売では、利用者と共に季節のおすすめ商品を決め、宣伝方法を考えることで利用者のやる気と自主性を伸ばしていく。</p> <p>② 軽食作業と弁当作業が連動しながら、献立の一部を共有することで作業の効率化や食品ロスの削減に取り組み、収益の向上を目指す。弁当作業では、お客様の声や意見を献立などに反映させ、お客様の定着に繋げる。また、施設外作業では、引き続き、利用者・職員が1つのチームとして、日々の作業目標数の設定や作業スピード・効率アップを意識した作業を行うことで収入の維持に努める。</p> <p>③ びんずと連携し、いろいろな作業を組み合わせることで、日数増を希望する利用者のニーズに応える。また、利用者増WGと連携し、パンフレットやホームページ等での情報発信を活用しながら、新規利用者を募る。また、長野市相談員や関係機関や病院と連携していく。</p> <p>④ 担当の相談支援専門員と連携して支援計画に基づく面接と支援の充実を図る。更に、企業の見学や職場実習等を行い就職希望者への支援も強化していく。びんずと連携しながら、利用者のニーズに応じていく。</p> <p>⑤ 事業の枠を超えて、日々の連携を密にしていける。毎月のスタッフ会を利用しながら、事例検討やテーマを絞った意見交換を行い、日々の支援に活かしていく。関係施設などを見学や各種研修への参加も積極的に行い、職員の資質の向上を目指す。</p> <p>⑥ 感染症対策を徹底し、お客様が安心して来店し、食事ができるような居心地の良いお店づくりを進める。また、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理について、適宜勉強会を持ちながら、日々の衛生管理を実践していく。利用者にも分かりやすく、継続して取り組める方法で衛生管理ができるよう工夫していく。</p>
<p>会議等</p>	<p>① B移会議（月1回） ② 販促会議（月1回） ③ スタッフ会（月1回） ④ 研修報告（年3回） ⑤ 事例検討会（年4回） ⑥ 随時研修会等参加</p>
<p>活動内容</p>	<p>■ 作業・軽食事業及び弁当惣菜製造・販売（定期販売やイベント販売への参加） ・施設外就労（大日本法令印刷での封緘・検品作業）・ワゴンカフェ</p> <p>■ 行事</p> <p>■ その他：① メンバー会（月1回） ② 合唱（月2回） ③ スポーツ（ソフトバレー） ④ 避難・防災訓練（年2回） ⑤ 専門職による技術指導（随時） ⑥ 研修会等参加（随時）</p>
<p>目標工賃</p>	<p>時給：400円 平均月額：20,000円 最高月額：40,000円</p>

(2) - 2 びーんず

所在地	388-8006 長野市篠ノ井御幣川 1233-1	TEL/FAX	026-214-5446/026-214-5449
定員	10名	開設時間	月～金 (8:45～16:30)

1 2021年度に向けて

2020年度は、特に軽作業においてコロナ禍の影響が大きく、対応に苦慮した。菓子作業は広告の効果やスーパーへの卸し販売、「コロナに負けるな大作戦」など法人内の取り組みによって安定した売上が維持でき、工賃時給アップを実現することができた。自主製品作り(OGT)は、長期休みの方の復帰のきっかけや軽作業の閑散期の代替え作業になった。

2021年度は引き続き、利用者が主体となって作業を進められる環境づくりに取り組む。マニュアルの整備や設備の増設などを進め、働きやすい環境を整えることで利用者の活躍の場を増やしていく。菓子事業では、常時商品を並べられる体制作りや商品が魅力的に見える店頭を整備を進めることで「また来たい」と思えるお店作りに取り組み、お客様のリピート率向上を目指す。また、昨年度同様にあんだんと連携して、利用者の希望に柔軟に対応できる体制や新規の利用者を迎える体制を整えていく。

2 各施設事業計画

重点目標	<ul style="list-style-type: none">① 利用者の特性に合わせた事業内容の見直し。② 工賃アップに向けた取り組み。③ 利用者増と定着。④ 個別支援の充実。⑤ 職員の連携と資質の向上。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none">① 利用者が主体的に作業に取り組めるよう更に環境整備を行う。引き続き、見える化に取り組み、働きやすい環境づくりを行っていく。軽作業では、昨年度整理・細分化した作業工程をマニュアル化し、全体の作業の流れを見えるようにする。また、昨年度コロナ禍で延期した特別支援学校などの見学を行い、見える化に取り組む上で必要となる視点の獲得、気づく力を養うなど職員の資質向上を目指す。② 菓子作業では、引き続き地域における店舗の認知度アップに取り組む。常時、商品を店頭で並べられる体制を整え、お客様の期待に応えられるようにする。更に、商品が見やすいショーケースの導入や陳列の工夫を行い、「また来たい」と思えるお店づくりを進めることで、リピーター増を目指す。同時に、週末の販売先の開拓を行い、ロスを最小限に抑える。製造面では、環境整備(オープンの増設など)を進め、作業の効率アップを目指す。軽作業は、OGTと組み合わせて1年を通して安定した作業確保に取り組み、工賃の維持に努める。③ 長期欠席の利用者が復帰しやすく、新規利用者が通い始めやすいよう、短時間でもできる軽作業やOGTを充実させ、通所しやすい環境を整える。長期欠席の利用者に対して、引き続き面談を行って丁寧に関わっていく。また、利用者増WGと連携し、パンフレットを活用しながら、当事者や家族、関係機関へ情報を発信していく。④ 担当の相談支援専門員と連携して支援計画に基づく支援の充実をはかる。職員間

	<p>で個別支援計画の共有を行ない、利用者個々の利用目的や目標を抑えた支援を目指す。また、引き続き、あんだんと連携しながら、利用者のニーズに柔軟に対応する。</p> <p>⑤ スタッフ会を活用して毎月所内で事例検討に取り組んだり、「こんな時どうするか」といった具体的な対応をテーマに話し合う時間を設けたり、支援についての意見交換を充実させる。必要に応じて関係者にも参加していただき、連携を密にする。特別支援学校や関係施設の見学や各種研修への参加を積極的に行う。</p>
会議等	<p>① B移会議（月1回） ② 販促会議（月1回） ③ スタッフ会（月1回） ④ 研修報告（年3回） ⑤ 事例検討会（年4回） ⑥ 随時研修会等参加</p>
活動内容	<p>■ 作業：作業・菓子の製造・販売（定期販売やイベント販売への参加）、 軽作業（ゼリーの筒詰め、果実のネット折り作業等）、 自主製品作り（紙袋作り等）</p> <p>■ 行事</p> <p>■ その他：① メンバー会（月1回） ② 合唱（月2回） ③ スポーツ（ソフトバレー） ④ 避難・防災訓練（年2回） ⑤ 専門職による技術指導（随時） ⑥ 研修会等参加（随時）</p>
目標工賃	<p>時給：430円（軽作業150円） 平均月額：25,000円 最高月額：45,000円</p>

Ⅲ 2021 年度共同生活援助事業計画

2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかなりのエネルギー・時間を注ぎながらも、新たにアドバイザーの配置を行い、毎朝オンラインミーティングを開始した。休日の巡回支援も定着し、食事提供における調理の形の変更で利用者に直接関わる時間を増やすなど、グループホームの支援においてどこに焦点を置くかを検討してきた。しかし、怠薬で入院となってしまった事例もあり、服薬管理の見直しを行い改善を図った。また、利用者の日常生活の相談や、今後の生活の場や方向性についても話を聞き、共に考えてきたが具体的な行動に移すにはまだ時間が必要で、課題が残る結果となった。

2021 年度は、2020 年度の検討を踏まえ、薬の見える化の工夫で職員にも服薬の状況をわかりやすくすると共に、病気や薬についての利用者学習会を行い、利用者本人の服薬に対する意識を高めていく。日中活動を充実させ生活意欲の低下を防ぐため、近隣の地域活動支援センターへの登録や生活介護・移動支援・デイサービス等の情報を提供し体験の場を増やすとともに、利用者それぞれの望む生活が実現できるよう取り組んでいく。

聞きとってきた利用者の目標、希望に沿って、自分で選択して将来のことを考えられるよう、介護施設の見学を行い、希望を具体化する作業を一緒に行う。そのためにアパート形式のグループホームやサテライト型についてもその在り方を検討し、短時間職員も含めた病気や支援についての勉強会も行っていく。

(1) セルフィー平林（定員 6 名）

381-0036 長野市平林 1 丁目 16 - 21 TEL/FAX 026-215-8007

1 2021 年度に向けて

2020 年度は、8 月に 1 名が入院となり、自立に近いアパート形式のグループホームにおける服薬管理等の支援の在り方を検討してきた。

2021 年度は、その検討を踏まえ同行受診のタイミング等の調整を行い、薬ポケット等薬の見える化とともに病気や薬についての学びを行う。また個々への声のかけ方や支援の方向性を職員間でも共有し、わずかな変化に気づいて対応できるようにしていく。一人暮らしに向け金銭管理、調理・片づけが課題となっている利用者には各部屋に訪問し、プランに沿った支援を提供する。

2 各ホームの計画

重点目標	① 一人暮らし等それぞれの目標に向け、必要な支援を行う。 ② 服薬・その必要性を学び健康管理に努めていく。身体状態の確認と看護師との連携。 ③ 金銭管理・調理・片づけの支援。
目標に向けた取り組み	① それぞれの目標やニーズを把握し個別支援計画をたて相談支援専門員と連携して支援していく。 ② 巡回看護師・地域の保健師・訪問看護と情報共有しながら、服薬の必要性・健康的な食生活について一緒に学ぶ。 ③ ボランティアの力も借りながら個別に実施。

会議等	① グループホームスタッフ会（月1回）② ケース検討会（年2回）③ 研修会等参加（随時）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行事：グループホーム合同行事（暑気払い・新年会等）、ひまわりの会 ■ メンバー会（月1回） ■ 避難・防災訓練（年2回） ■ ボランティアの受け入れ

（2）リアン若里（定員7名）

380-0928 長野市若里 4-5-28 TEL/FAX 026-227-0498

1 2021年度に向けて

2020年度は、利用者の日中活動としてボランティアの協力を得て畑での野菜作りやマージャンを行い、筋力低下を防ぐため買い物や小旅行に出かけ、生活への意欲の向上につながった。

2021年度は、個々での日中活動の充実を図りながら、利用者間のコミュニケーションも視野に入れ、利用者が相互に意見を言える場を増やしていく。高齢化している利用者へは、引き続き看護職員とともに健康面のケアに当たり、利用者それぞれに合った生活の場について家族と相談しながら利用者に合った一人暮らし、サテライト、介護施設等生活の場について検討を重ねていく。

2 各ホームの計画

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① それぞれの生活への希望を取り入れた個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行なう ② 生活リズムを整え健康維持への意欲を高める ③ 日中活動の充実及び生活しやすい環境づくり
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 定期的に面談し、相談支援専門員と連携しながら、生活への希望を現実に叶えられるものから一緒に関り支援する。 ② 食事の時間や内容・清潔保持・軽い運動等で1日のリズムの安定を図る。 ③ 利用者の希望の活動について情報提供と見学や体験の機会を作り、それぞれが安心した生活を送るために相手を責めることなく利用者間で意見を言える雰囲気作りをし、相互に話し合っ解決できるよう支援する。
会議等	① グループホームスタッフ会（月1回）② ケース検討会（年2回）③ 研修会等参加（随時）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行事：花見、グループホーム合同行事(暑気払い・新年会等)、ひまわりの会、地域行事への参加 ■ 畑作業 ■ 避難・防災訓練（年2回） ■ ボランティアの受け入れ ■ その他：メンバー会（月1回）、ホームでの日帰り旅行や食事会

(3) クレール篠ノ井 (定員 5 名)

388-8007 長野市篠ノ井布施高田 1032-8 TEL/FAX 026-292-0664

1 2021 年度に向けて

2020 年度は、コロナ感染への不安から日中活動先への通所が安定せず、利用者間で影響し合うことが目立ったため、各通所先と細かな連携を図った。1 名は人間関係での悩みが高じ入院、他法人のグループホームへの入居となるなど生活上の利用者間の交流や調整に課題が残った。良かったこととしては、利用者間で協力し小旅行やイベントを行うことができた。

2021 年度は、通所先との連携を継続するとともに朝の職員配置により、通所前の時間帯での関わりの体制を強化していく。また、利用者それぞれの生活の困難点や苦手なことも利用者同士表明して互いにカバーしながら生活し、良好なコミュニケーションを維持していく。コロナ禍ではあるが、感染予防など工夫しながら行事やイベントに参加し、生活の楽しみを見つけ、ストレスの軽減を図っていく。

2 各ホームの計画

重点目標	① 各々のニーズを把握して、個別支援計画を作成し、それに基づいた支援。 ② 健康維持のための生活習慣作り。 ③ コロナ禍にあっても一人ひとりが活き活きと過ごせるような行事や日々の活動を工夫する。
目標に向けた取り組み	① 相談支援専門員等と連携を図り具体的な目標と行動を決め、関係機関と連携して支援を進める。 ② 看護職員と連携し、健康維持のための散歩、簡単なストレッチ等生活習慣づくりを支援していく。服薬については定期的に確認し、必要に応じ同行受診するなど医療機関と連携を取りながら支援していく。 ③ メンバー会での意見交換を活性化させ、一人ひとりが主体性を発揮できる活動を企画していく。
会議等	① グループホームスタッフ会 (月 1 回) ② ケース検討会 (年 2 回) ③ 研修会等参加 (随時)
活動内容	■ 行事：誕生会、クリスマス会、グループホーム合同行事(暑気払い・新年会等)、ひまわりの会、地域行事への参加 ■ 避難・防災訓練 (年 2 回) ■ ボランティアの受け入れ ■ その他：メンバー会 (月 1 回)

(4) みらいコーポ稲葉 (定員 7 名)

380-0914 長野市稲葉 689 TEL/FAX 026-214-7331

1 2021 年度に向けて

2020 年度は、病院への同行受診が必要な利用者が増えたため、支援員と看護職員の情報交換を密に行い、医療機関との連携も図り支援してきた。

2021 年度は、引き続き医療機関等と連携をとりながら体調管理を行う。身体機能の低下等で役割をこなすことが困難な人も増えてきたため、役割分担についての考え方をみんなで話し合い、暮らし

やすい生活環境を整えていく。また、ボランティアの協力を得ながら、料理、旅行、レクリエーションなど入居者が楽しめることに取り組み、生活にメリハリをつけ充実した日中活動が送れるよう支援していく。昨年度要望があった短時間職員の勉強会を隔月ごとに開催して支援の向上を図っていく。

2 各ホームの計画

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 日中活動の支援。 ② 役割分担を見直し、生活環境を整える。 ③ 高齢化に伴う認知機能、身体機能の低下のための医療連携。 ④ 旅行やレクリエーション等、ボランティアと一緒に楽しめるよう支援する。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護サービス、障害福祉サービスを担当ケアマネ、相談支援専門員と連携して定期的な面談のもと、本人の希望に沿った個別支援計画を作成し、充実した日中活動を送ることができるよう支援する。 ② できること、できないことを話し合い、お互いを認め合い協力して役割を果たせるよう支援する。また必要に応じて職員と一緒に取り組む。 ③ 医療を始め介護保険等、関係機関との連携を図り、支援の質の向上につなげる。 ④ 利用者の希望に沿った行事を計画し、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、利用者全員で出掛けられるよう支援する。
会議等	① グループホームスタッフ会（月1回）② ケース検討会（年2回）③ 研修会等参加（随時）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行事：クリスマス会、誕生会、グループホーム合同行事（暑気払い・新年会等）、ひまわりの会 ■ 避難・防災訓練（年2回） ■ ボランティアの受け入れ ■ その他：メンバー会（月1回）

IV 2021年度短期入所事業計画

みらいコーポ稲葉 (1床)

380-0914 長野市稲葉 689 TEL/FAX 026-214-7331

1 2021年度に向けて

2020年度は、コロナ禍においても対策を徹底しながら新規利用者受け入れを継続したこともあり、5月頃より利用者が増え、毎月ほぼ満床の状態が続いた。また、利用者一人ひとりの目標に沿って、安心して利用できるよう努めてきた。

2021年度は、引き続き利用者が安心して過ごせるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を徹底する。また、利用目的や目標など利用者に関する情報を職員間で共有し、方向性を相談しながらサービスを提供していく。

2 ショートステイの計画

重点目標	① 短期入所サービスを必要としている人を一人でも多く受け入れる。 ② 利用者の基本情報と利用目的を把握し、職員間で共有し必要な支援を提供する。 ③ 入居者との交流等、利用者の緊張を和らげ、安心して過ごせるよう配慮する。
目標に向けた取り組み	① 相談支援専門員等の協力のもと、各方面からのニーズを把握し、見学や利用を積極的に受け入れていく。 ② 担当の相談支援専門員が作成した利用者のサービス等利用計画を本人・職員で共有する。退所時には計画の実行や目標の達成ができたか振り返りを行う。さらに職員会等で早番・宿直職員にもショート利用者の情報や対応についての伝達を密にする。 ③ 食事や行事等を通じて、入居者との交流や安心して過ごせる場を提供できるよう支援する。
会議等	
活動内容	みらいコーポ稲葉に同じ

V 2021年度地域活動支援センター事業計画

(1) 皆神ハウス（Ⅲ型Sタイプ）

所在地	381-1223 長野市皆神台 157	TEL/FAX	026-278-7466/026-285-0579
定員	20名	開設時間	月・火・木・金・土（9：30～17：00）

1 2021年度に向けて

2020年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できたプログラムが少なかったこともあり、例年と比べプログラムを通して利用者同士やボランティア、地域住民と交流する機会も少なくなった。一方でコロナの影響もあり電話相談が増え利用者の相談に個別で対応することが増えたため、利用者の対応を含め職員間で情報共有することが多くなり電話や来所相談に生かされた。しかし共有した情報等を「支援状況確認シート」に落とし込むことができていないことが課題である。

2021年度は、すべての曜日で同じ時間の開設時間とし日中の支援体制を整えていく。また支援状況確認シートと個別面談を活用し利用者一人ひとりの利用目的を明確にし、目的に沿った支援を提供できる地域活動支援センターを目指す。ピアカウンセリングなどのピア活動にも力を入れ、利用者の力を引き出し体験発表ができる利用者を増やすことと同時に体験発表をする場も開拓していく。さらに感染対策を十分に講じたうえで、利用者の声を聞きボランティアや地域の協力を得ながら実施可能なプログラムを増やしていく。

2 各施設事業計画

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人ひとりの利用目的の明確化及び目的に沿った支援の提供。 ② ピア活動の充実。 ③ 社会参加、役に立つ経験、活動の場の実現。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の面談を定期的に行い利用目的や目標を明確にする。そのうえで作成した支援状況確認シートを職員間で共有し、利用目的に沿った支援を行う。プログラムについては現在実施しているものを見直し、利用者の声やニーズを反映したものにしていく。 ② 利用者のストレングスを意識して関わる。そしてピアカウンセリングを活用し利用者が自分自身の考えや経験を人前で話す経験を積み重ね、利用者同士が支えあう関係を構築しやすい雰囲気をつくる。また民生児童委員協議会、ボランティア養成講座、家族会、皆神台を含む地域のお茶の間サロンなど体験発表をする場も開拓する。 ③ 日中活動、野外活動等をボランティアの協力を得て行い、社会参加の場を広げる。地域や関係機関と連携して事業を行い、交流を深める。
会議等	<ul style="list-style-type: none"> ① スタッフ会（月1回） ② 松代・若穂地域福祉関係者連絡会（年3回） ③ 職員全体会議（研修報告等）（年3回） ④ 事例検討会（年4回） ⑤ 地活連絡会（年4回） ⑥ 松代地区民生児童委員定例会（月1回） ⑦ 長野市障害ふくしネットへの参加 ⑧ 松代地区福祉活動計画策定委員会 ⑨ 随時研修会等参加

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就労準備支援（喫茶コーナー・創作活動） ■ 地域交流行事（ミニコンサート・作品展示・ギャラリートーク・健康体操） ■ プログラム（ピアカウンセリング・コラージュ・昼食作り・家族茶話会・手芸・散策・手しごとカフェなど） ■ 生活支援講座（市等の出前講座等を活用しシリーズ化） ■ 避難・防災訓練（年2回） ■ 行事：お花見、デイキャンプ、ハイキング ■ その他：① 当事者会（ひまわりの会）参加 ② 合唱参加（月2回） ③ スポーツ参加（ソフトバレー） ④ 家族定例会（年1回） ⑤ 家族向け学習会（年1回） ⑥ 研修会等参加（随時） ⑦ 実習生受け入れ ⑧ 松代地域福祉関係者連絡会 ⑨ 皆神台地区との交流会 ⑩ お茶の間サロン等での地域との交流 ■ メンバー会主催：① メンバー会（月1回）② 暑気払い・忘新年会 ③ カラオケ
------	---

（2）つむぎの家（Ⅲ型）

所在地	長野市稲葉 15-7	TEL/FAX	026-266-0099
定員	10名	開設時間	月～金（10：00～17：00）

1 2021年度に向けて

2020年度は会食や密を避けるといった新型コロナウイルスの感染予防を行いつつ、利用者の意見やニーズの中からできるプログラムを工夫して行なった。特に外出を伴うプログラムは、利用者が行き先や行程を自分たちで相談して決めるなど利用者の自主性が発揮できる場となった。

2021年度はつむぎの家の閉鎖も見据え、今まで関わってきた皆さんに感謝の思いを伝えるイベントを実施し、利用者がやりたいことを実現し行事やプログラムを通じてたくさんの思い出を作る年にしたい。つむぎの家を閉じた後の利用者の相談先や居場所については面談を行う中で、必要に応じて皆神ハウスや他法人の地域活動支援センターなどにつなぐなど丁寧な対応を心がける。昨年度も好評だった女子会などの行事については内容をより充実させ、豊かな交流の場作りをボランティアの協力を得て実施する。

2 各施設事業計画

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業の終了に向けたイベント及び楽しい思い出を作るプログラム等の実施。 ② 利用者のニーズにあったプログラムの充実。 ③ 豊かな交流と参加の場づくり。 ④ 事業の終了に向けての不安を抱える利用者への丁寧な対応。
目標に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① お世話になっているボランティアの方などに感謝を伝えるイベントや、行事やプログラムを通したくさんの思い出を作る。 ② 女子会や遠足など利用者のニーズを反映したプログラムを実施する。 ③ 談話やメンバー会では一人ひとりが安心して発言できる雰囲気をつくり、豊かな交流の場をつくっていく。毎月の利用者が共同で制作する作品の展示会も実

	<p>施する。</p> <p>④ つむぎの家を閉じた後の相談先や居場所について利用者と面談を行い、必要に応じて関係機関等と連携し本人の希望に沿った支援を行う。</p>
会議等	<p>① スタッフ会議（月1回） ② 職員全体会議（研修会報告など）（年3回）</p> <p>③ 事例検討会（年4回） ④ 地活連絡会（年4回） ⑤ 研修会参加（随時）</p>
活動内容	<p>■ プログラム *つむぎニュース発行（月1回）</p> <p>利用者主体に行う活動：ピアカウンセリング、女子会、カードゲーム、将棋、麻雀、ランチ会、ティータイム等</p> <p>ボランティアの協力を得て行う活動：編み物、書道、3Dアート等</p> <p>地域交流活動：小物作り、卓球やスポーツ等</p> <p>■ 生活支援講座（市等の出前講座）</p> <p>■ 行事：お花見、暑気払い、クリスマス会、新年会</p> <p>■ 野外活動（美術鑑賞・マレットゴルフ・季節の散策等）</p> <p>■ 事業所見学（随時）</p> <p>■ 家族向け学習会（年1回）</p> <p>■ その他：① メンバー会（月1回） ② 合唱参加</p> <p>③ スポーツ参加（ソフトバレー） ④ 研修会参加（随時）</p> <p>⑤ ボランティア受け入れ ⑥ 当事者会（ひまわりの会）参加</p> <p>⑦ 事業所間交流行事 ⑧ 利用者主体で考える行事</p>

VI 2021年度相談支援事業計画

絆の会相談室

所在地	381-1231 長野市松代町松代 149
TEL/FAX	026-278-9566 / 026-213-6444
開設時間	月～金 (8:45～17:30)

【計画相談支援事業・地域相談支援事業】

1 2021年度に向けて

2020年度の計画相談支援は、相談支援専門員が行う相談支援の質の向上を図っていただけるように、心がけ行っていたが、コロナ禍により、ケア会議・モニタリングを電話でやり取りする場面や短時間での聞き取りをする等、難しさを感じた。

2021年度は相談支援専門員の充実を図り、より利用者の夢や希望に寄り添える支援を行う体制を整える。また、相談支援専門員の専門性を高めると共に、専門員の育成のために、研修参加を進め質の向上を図っていく。

2020年度、地域相談の地域移行支援は、コロナウイルス感染予防のために、市内の病院の数か所で地域移行が中止になってしまった。このような状況下、13件中、退院者数7名、現在3名の支援を行い、他3名は計画相談で支援を行い退院、退所した。

2021年度は、コロナ感染の影響を見ながら、病院に働き掛けること。関係機関との緊密な連携を図り支援を行いたい。地域定着支援については、引き続き、退院した方や一人暮らしの人が安定した地域生活を継続していくことができるよう支援していく。

2 活動内容及び会議等

- ① 障害当事者及び家族、関係者等からの相談(電話・来所)・訪問・同行等の支援及び情報提供
- ② 計画相談支援、地域移行支援計画、地域定着支援台帳の作成
- ③ 長野市障害ふくしネットへの参加
指定事業所連絡会(月1回)、その他部会(月1回)他

【自立生活援助事業】

2021年度より、地域移行で退院した人や地域で生活する一人暮らしまた、家族に支援が求められない人に対して、定期的な訪問を行い、生活の安定を図るため相談支援専門員との連携、情報共有を行い、定期的な巡回に際しての支援に生かせる体制を整える。

【長野市障害者相談支援事業・南部障害者相談支援センター】開設時間 月～金(8:30～17:15)

1 2021年度に向けて

2020年度は、サテライトから統合した「長野市南部障害者相談支援センター」は、活動2年目となり、担当地域だけでなく長野市南部全体の地域課題が見えてきた。新規ケースについては、障害福祉サービスを利用する目的で相談支援事業所に短期間でつながるケースと、同居する親の高齢化、ご本人のひきこもり生活が長く続けている等複合的な問題があり、障害福祉サービスの導入までに時間がかかるケースと二分化している。

2021年度は、南部障害者相談支援センターとして見えてきた課題をもとに、北部障害者相談支援センターと統一化し、個別の相談業務、長野市障害ふくしネット（協議会）、民生委員会を含め関係機関の連携体制、相談支援事業所のバックアップ体制の方法など具体的に検討していく。

サテライト方式の時はそれぞれのセンターの判断で動いていたので具体的な取り組みが見えてこなかったが2021年度はセンターが集約することでより地域に根差した相談支援を充実させていく。

2 活動内容及び会議等

- ① 障害当事者及び家族、関係者等からの相談(電話・来所)・訪問・同行等の支援及び情報提供
- ② 相談支援事業所のバックアップ体制を充実していく
- ③ 様々な課題を抱えている人及びその家族等を、地域関係者と包括的に支援する
- ④ 民生児童委員や関係する機関との情報交換を密にし、地域課題を明確化させる
- ⑤ 会議等への参加

相談体制が大きく変化することから北部障害者相談支援センターと会議内容を検討する。

【長野市地域移行支援コーディネートセンター】

1 2021年度に向けて

2020年度は地域移行コーディネートセンターとして、長野市、北部地域、千曲・坂城地域から32件の相談支援を行い、11名（北部地域1名、千曲・坂城地域1名を含む）が退院した。千曲・坂城自立支援協議会、須高地域自立支援協議会への参加は年度当初からコロナウイルス感染防止のために、中止が続いたが、後半では、WEB会議に出席し、情報を共有、意見交換を行った。長野市ふくしネット「地域でいこう委員会」に参加し、長野市精神障害者の退院支援・地域生活支援連絡会への協力を行った。

2021年度は、各圏域の自立支援協議会へ参加し、圏域の課題共有に努め、地域移行の推進を図る。

長野市内の地域移行の推進には、「地域でいこう委員会」に参加し、地域移行支援・地域定着支援をわかりやすくまとめたパンフレットの作成に協力し、精神科病院、入院している人、ご家族、障害施設への配布を行い、普及啓発に努める。

2 活動内容及び会議等

- ① 精神科病院を訪問し事業への理解を得ていくとともに、地域の社会資源等の情報提供を行う。
- ② 地域移行、地域定着を推進するための普及啓発活動を行う。
- ③ ピアサポーターの活動場所の開拓と、活動の振り返りを行い、活動内容を検証する。
- ④ 地域自立支援協議会への参加
 - 長野市障害ふくしネット地域でいこう委員会(月1回)
 - 千曲・坂城こころ支援部会(月1回)
 - 須高地域自立支援協議会
 - 長野圏域障がい者総合支援センター連絡会議(年2回)他
- ⑤ 地域移行研修会開催

以上の5事業の他、障害支援区分認定調査を引き続き実施していく。